



令和4年9月15日
第861号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
00160-6-25389
電報掛 00160
編集 毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

310万人の御霊の冥福を祈った。
支部長交代
滋賀県で

は次のとおり。
政策統括官(恩給担当) 阪本 克彦氏 (8月19日付)
大臣官房審議官(恩給担当) 北原 久氏 (8月19日付)

旧九段会館跡地の建て替え工事事が終わり、「九段会館テラス」として装いも新たに竣工したことをお伝え(本紙令和4年8月15日、第860号)したが、去る9月8日、メディアを対象とした開業イベントが行われ、そのイベントに水落敬栄会長が出席されたので紹介したい▼「遺族の殿堂であった九段会館は、貴重な登録有形文化財建造物であり、その建て替えに係わった関係者の尽力に心から感謝する。(中略)二度と私たちのような戦没者遺族を出さないという固い決意のもと、昭和22年に結成した日本遺族会が創立75周年を迎える本年、遺族の殿堂「九段会館」の名称をそのままに、加えて「九段会館を照らす」という意味の「九段会館テラス」と命名し竣工したこと、遺族会の活動に敬意を表していただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。(中略)私ども遺族会は、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に継承する『平和の語り部』活動を、この九段会館テラスの本部事務所から展開してまいります。そして、この九段会館テラスが、訪れるすべての人々の心の灯を照らすような施設になることを祈念します。」と挨拶された▼この挨拶の重みを胸に、平和の尊さを次世代に継承する施設とすべく事務局一同努力を重ねることをお誓いしたい。(M)

77年の終戦 全国戦没者追悼式 天皇皇后両陛下がご臨席

終戦から77年を迎えた8月15日、政府主催の全国戦没者追悼式が、東京・千代田区の本武道館で、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ挙行された。今年にはコロナ蔓延以降初めて行動制限がない中で開催され、4府県が遺族代表の参加を見送ったが、参列者は992人と最小だった昨年を上回った。そのうち戦没者の孫72人が参列した。

天皇皇后両陛下の御臨席のもと挙行された全国戦没者追悼式は、新型コロナウイルスの感染を防止する観点から、昨年と同様に、会場内の座席間隔を一定距離確保し、参列者を縮小して実施され、参列できなかった遺族のために、式典の様子が動画配信サービス(Youtube)で生配信された。

開始され、参列者全員が起立し、加藤勝信厚生労働大臣の先導で両陛下が式壇に着かれ、国歌が演奏された。続いて岸田文雄内閣総理大臣が登壇し、「私たちが享受している平和と繁栄は戦没者の尊い命と苦悩の歴史の上に築かれたものであることを、私たちは片時も忘れない(中略)戦争の惨禍を二度と繰り返さない。

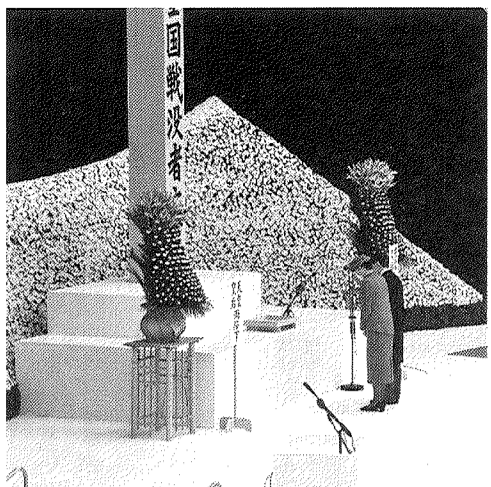
天皇陛下のごことば

本日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来77年、人々のためまい努力により、今日の我が国の平和と繁栄が築き上げられましたが、多くの苦難に満ちた国民の歩みを思うとき、誠に感慨深いものがあります。

私たちが今、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による様々な困難に直面していますが、私たちが皆が心を一つにし、力を合わせてこの難しい状況を乗り越え、今後とも、人々の幸せと平和を希求し続けていくことを心から願います。

ここに、戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ、過去を顧み、深い反省の上に立って、再び戦争の惨禍が繰り返されぬことを切に願ひ、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、全国民と共に、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。



天皇陛下がおことばを述べられる = 8月15日、日本武道館で

を亡くした大月健一岡山県遺族連盟理事長、その他、本会名誉顧問の尾辻秀久参議院議長らが追悼の辞を述べた。

滋賀県遺族会 山川 芳志郎氏 (5月26日付)
総務省で 人事異動
総務省で人事異動が行われた。本会に関係のある方々氏。

謹 哀悼
生林隆輝氏 日本遺族会元理事。鳥取県遺族会元会長。8月26日、逝去された。86歳。葬儀は米子市・びあべール米子で行われた。喪主は長男久和氏。

追悼の辞

本日ここに、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、各界代表をはじめ、全国各地から遺族の代表が集い、全国戦没者追悼式が厳粛に執り行われるに当たり、戦没者遺族を代表し、謹んで追悼の言葉を申し上げます。77年前、小学校1年生の私は、岡山県高梁市で母と姉と3人で終戦を迎えました。私の父は、男の子が生まれたら健一と名前を付けるようにと、妊娠中の母に告げて、中国に出征しました。父の戦友の話では、我が身の危険を顧みず、懸命に戦っていたようですが、心待ちにしていた私の誕生を知らず、帰らぬ人となってしまいました。

戦後の混乱の中で、愛する家族を失った私たち遺族は、多くの困難に直面しながらも、残された家族が身を寄せ合って懸命に生きてまいりました。こうした中で、一家の大黒柱とならざるを得なかった私の母は、多くの苦勞に耐えながらも、私たち姉弟を頑張り育ててくれました。母には、感謝の言葉しかありません。これは、私だけではなく、全国の多くの遺児の皆さんも同様だろうと思います。

今日の我が国は、世界有数の経済大国となり、平和と自由を享受しておりますが、これは、国の命運を決する戦いに際して、最愛の家族の安寧を願いつつ、懐かしいふるさとに思いをはせながらも、一身を顧みず、精魂込めて戦い、散華された戦没者の犠牲の上に築かれていられることを私たちは決して忘れてはなりません。

世界では、ロシアによるウクライナ侵攻など、未だ紛争は絶えず、今も私たちのような遺族が生まれ続けています。一日も早く平和な世界が実現するよう祈らずにはいられません。

ここに、私たち遺族は、戦争は遠い過去の歴史的出来事ではなく、今も身近にあることを再認識し、世界の恒久平和実現に向けて、一般市民まで犠牲となる戦争の悲惨さと平和の尊さを語り続け、継承していくことを諸霊にお誓い申し上げます。

本日は、コロナ禍にもかかわらず、ご来賓の参列のもと、かくも厳かに追悼式を挙行していただきました。遺族を代表して心から感謝申し上げます。結びに、ご英霊のご冥福とご参列の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、追悼の言葉といたします。

令和4年8月15日

全国戦没者遺族代表 大月健一

令和五年 靖國曆

靖國神社では毎年「靖國曆」を頒布しています。本曆は、昭和二十三年から発行しているもので、嘉永六年から明治・大正・昭和の「御祭神ゆかりの主な出来事」を月毎に掲載しております。座右に置かれて、日々ご活用戴きたく存じます。



好評頒布中
令和五年 靖國曆
● 体裁：B6判 ● 頁数：四十八頁
● 編集発行：靖國神社事務所

主な内容
○ 靖國神社の由緒 ○ 人生儀礼の説明
○ 靖國神社の祭事曆 ○ 手水・玉串拝礼の作法
○ 家庭のみたままつり ○ 全国の護國神社一覽
○ 年中行事と節氣 ○ 年齢早見表

頒布価格
一部 三〇〇円(送料二〇円)
※三〇〇部以上取りまとめの場合は割引となります。
※二部以上の送料はお問い合わせ下さい。

お申し込み方法
「はがき」または「FAX」にて部数郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、お申し込み下さい。
※曆と同封の払込取扱票にてご送金下さい。

お問い合わせ、お申し込み
靖國神社事務所 祭儀課
〒102-8246 東京都千代田区九段北三一一一
電話：03(3261)8326(代表)
FAX：03(3261)8320(直通)

議連設立以来初の中止

英霊への思い希薄「強い危機感」

みんなで参拝 靖国

終戦から77年となった8月15日、超党派「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」は急遽代表参拝を取りやめた。当初新型コロナウイルス第7波拡大を考慮し、代表者のみの参拝を予定していたが、逢沢氏のコロナ感染による外出禁止が長引いたことにより、設立以来初となる参拝中止となった。

みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会(以下「みんなで靖国議連」)は、昭和56年3月5日に結成され、設立趣意書には、「一切の立場を超えて、

国政に携わるものが率先して我が国の平和と繁栄の礎となられた250万人の英霊に感謝の誠を捧げる会として、春秋の例大祭、終戦の日には、閣僚はもとより、出来るだけ多くの国会議員がそろって参拝するもの」とされた。初代会長は竹下登元総理、顧問には村上勇元建設相、長谷川峻元



昇殿参拝した水落敏栄本会会長 = 8月15日、靖国神社で

つづつあった総理の靖国参拝を愛い、戦中戦後の混乱を経験した議員が、英霊を顕彰する姿を多くの国民に伝えるべく悲壮感をもって設立されたものである。

コロナ禍においても、拡大期には代表参拝を、収束期には感染予防対策を徹底し、団体参拝を続けてきただけに、設立以来41年の歴史を途切れさせた事実は衝撃をもって報道された。

水落敏栄本会会長は、「戦後77年が経過し、国民の9割が戦後生まれ、



戦没者の孫である秋葉賢也復興大臣 = 8月15日、靖国神社で

戦争の記憶が風化される中で、国会においても同様のことが露呈し愕然とするばかりだ。遺族会代表の議席を失った感をおぼわした。

今、靖国神社の歴史や英霊の意味を今後は遺族会が丁寧に伝えなければならぬことになる」と危機感をあらわにした。

九段会館テラス 公開イベント開催される

旧九段会館跡地に建設された「九段会館テラス」で設計施工を手がけた東急不動産と鹿島建設は、開業に向けたメディアイベント(説明・見学会)が開催され10月1日に開業すると発表した。

イベントでは、本会を代表して水落敏栄会長が挨拶し、遺族会活動への敬意がこもった施設名への感謝と共に、建設に携わったすべての関係者に

41柱の遺骨を収容 マリアナ諸島現地調査で

日本戦没者遺骨収集推進協会主催によるマリアナ諸島現地調査(第3次派遣)がサイパン島で実施され、本会から2人が参加協力した。

8月17日に日本を出発した派遣団は、18日に在サイパン領事事務所、北マリアナ諸島歴史保存局、北マリアナ諸島環境・沿岸資源局等の表敬・協議先等を訪問して打合せを行い、翌日から遺骨の

第2次岸田改造内閣発足 戦没者の孫 秋葉賢也氏が入閣

岸田文雄内閣総理大臣は8月10日、第2次改造内閣と自民党役員人事を行った。閣僚19人のうち14ポストを入れ替えて大幅な刷新を図りつつ、多くの閣僚経験者を据え、即戦力と実務を重視する

3閣僚が靖国神社を参拝 岸田総理大臣が玉串料奉納

8月13日、西村康稔経済産業大臣は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」の15日に先立ち、靖国神社に昇殿参拝し、衆議院議員の肩書で記帳し、私費で玉串料を納めた。

この他、8月15日、高市早苗経済安全保障大臣は市早苗経済安全保障大臣、秋葉賢也復興大臣は

慰霊大祭 英霊にこたえる会 主催する「第47回全国慰霊大祭」が8月15日、午前9時から東京・靖国神社拝殿及び本殿で斎行された。今年も新型コロナウイルスウィルス感染症拡大防止のため、規模を最縮小しての斎行となった。大

祭には盛川英治本会事務局長をはじめ自衛隊の統合・陸上・海上・航空幕僚長(各代理)、中央参加団体代表などが参列した。慰霊大祭は国歌演奏、修祓ののち、参列者全員が本殿に進み、献饌、斎主の祝詞奏上、続いて寺島泰三会長が祭文を奏上したのち、玉串を捧げ参列した。

ミャンマー小学校 修繕募金のお礼

ミャンマー小学校修繕募金にご賛同いただきまして左記の方々に対し、お礼申し上げます。

なお、都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。

賛同者名(敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)

ミャンマー(旧ビルマ) 小学校修繕募金のお礼

日本遺族会では、ミャンマー(旧ビルマ)に建設寄贈した小学校の修繕費用について寄付金を募っております。先の大戦で18万の将兵が散華されたミャンマーの子供たちのためヤンゴン、アキャブ、ペグーに3校の小学校を建設し、竣工贈呈をいたしました。

建設から20数年が経過し、校舎等も老朽化が進んでいることから、この度修繕費用を募ることいたしました。関係ご遺族をはじめ、広くご遺族の皆様からのご支援をお願いいたします。



イベントで挨拶する水落敏栄本会会長 = 9月8日、九段会館テラス3階で

部分(旧九段会館本館)と、皇居のお濠を臨み最先端技術を活用した地上17階建てのオフィスとなる新築部分からなる。施設内には、会員制シェアオフィス、創建当時の意匠を保存・復元したパンケトルーム「真珠」・「鳳凰」の他8つのコフレインスルーム、オーガニック職域食堂はじめ洋食レストラン、3店舗のカフェ、クリヤクモール、コンビニ店舗など、様々な付帯施設が整備され、旧九段会館の歴史を訪れるすべての人々に、身近に感じられる施設へと生まれ変わる。本会の事務局は、新築建物の4階部分に10月1日に移転する。

新住所
東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス4階(電話: FAX番号に変更はありません)

布陣とし、総理は「有事に対応する政策断行内閣だ」と強調した。

なお、総務大臣には寺田稔氏(広島5区)、厚生労働大臣に加藤勝信氏(岡山5区)が就任。遺族会関係(拡大一心会)

院議員の肩書で記帳し、私費で玉串料を納めた。

この他、8月15日、高市早苗経済安全保障大臣は市早苗経済安全保障大臣、秋葉賢也復興大臣は

祭には盛川英治本会事務局長をはじめ自衛隊の統合・陸上・海上・航空幕僚長(各代理)、中央参加団体代表などが参列した。慰霊大祭は国歌演奏、修祓ののち、参列者全員が本殿に進み、献饌、斎主の祝詞奏上、続いて寺島泰三会長が祭文を奏上したのち、玉串を捧げ参列した。

日 ①英霊顕彰運動の経過並びに今後の運動方法について②処遇改善運動の経過並びに今後の運動方法について③本会創立75周年記念事業について。

銀行名: 三井住友銀行 神田支店
口座番号: 当座預金1015126
口座名: 一般財団法人 日本遺族会(ザイ)ニホンイソクカイ

慰霊友好親善事業

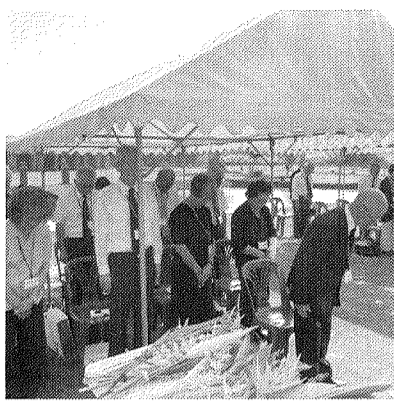
遺児の参加者を募集

日本遺族会では、厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集している。この事業は、戦没者の遺児を対象とした事業で、各戦域を訪れ亡き父等の戦没地を巡り慰霊追悼を行うことに加え、図らずも戦禍に巻き込まれた旧戦域の方と友好親善を図ることを目的としている。

募集要項については次
の通り。

▼時期及び地域 実施

▼参加費 10万円。
※東京等に集合し、結



東部ニューギニアでの全戦没者追悼式＝平成29年10月、ウエワクで

実施計画概要

(広域地域/特定地域)

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 東部ニューギニア (特定地域)	令和5年 2月1日～2月8日	36人	11月28日
2 台湾・バシール海峽	令和5年 2月9日～2月15日	30人	12月9日
3 西部ニューギニア (特定地域)	令和5年 2月16日～2月25日	36人	12月16日
4 ミャンマー (特定地域)	令和5年 2月28日～3月8日	36人	12月23日
5 マリアナ諸島	令和5年 3月2日～3月8日	40人	12月27日
6 フィリピン (2次)	令和5年 3月10日～3月17日	120人	1月10日
7 中国	令和5年 3月22日～3月30日	80人	1月20日

日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

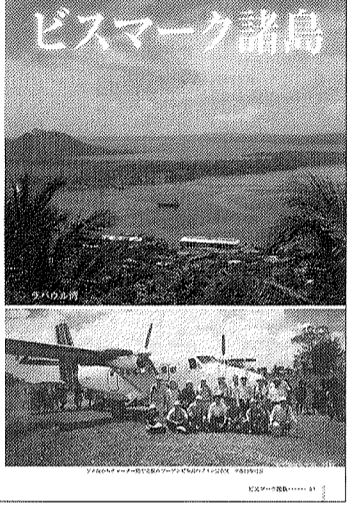
●郵便振替
001302000000
●みずほ銀行 九段支店
普通預金 00808030

※口座名簿：一般財団法人日本遺族会(サ)二(ホ)ソウカイ

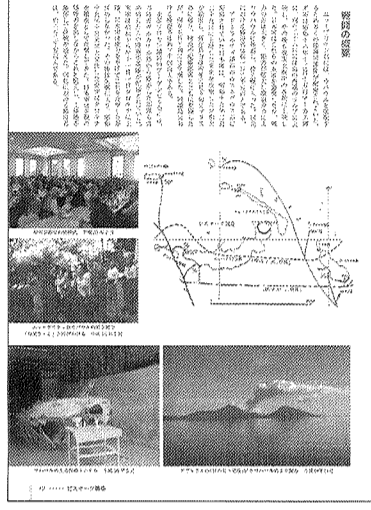
慰霊友好親善事業

実施三十周年記念誌頒布

日本遺族会では、戦没者遺児による慰霊友好親善事業が、実施30年を迎え、えたとことを記念し、同事業実施三十周年記念誌を頒布しました。(限定300冊)



記念誌のビスマルク諸島地域(上)とミャンマー地域(下)の一部



記念誌のミャンマー地域(下)の一部

お父さんへ

第84回

私も71才になりました。母も私が8才位に亡くなり、おはあさんが一生懸命育ててくれました。何を知らず、一度どんな所で最後を不自由なく育ててくれたおはあさんに、迎えられるか知りたくなくなり連れてきては、今思うと感謝の気持ちでいっぱい。二人きりの生活も、まわりの人達とのやさしさで淋しいと思つたことはありませんでした。

子供が46才、43才になりました。戦後69年、新聞、雑誌など当時の事を知るにつけ、一度どんな所で最後を甘えさせて下さいね。それまで頑張りなさい。

へ。なお、申込多数の場合、申し込みの順序で実施時期等が変更される場合があります。また、移動に必要となる交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続き手数料等、さらに日本国内外問わず、新型コロナウイルス各都道府県遺族会事務局へ。なお、申込多数の場合、申し込みの順序で実施時期等が変更される場合があります。また、移動に必要となる交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続き手数料等、さらに日本国内外問わず、新型コロナウイルス各都道府県遺族会事務局

参加者の高齢化に考慮し、看護師が同行する。事業の実施については、日本国内や訪問地域の相手国が感染症予防の観点から、ワクチン接種を推奨する場合があります。

本会への賛助金のお礼

本会への賛助金に賛同いただきました左記の方々に、お礼申し上げます。

公、岩原泰男、林栄定、鈴木幹生、丸山博文、田村武男、松宮健一郎、川端修、澤原善男、重乃房子、キノシタミチヤ、ミヤウチマイ、カク(以上8月1日から8月末日まで)

お父さんへ
戦後69年、新聞、雑誌など当時の事を知るにつけ、一度どんな所で最後を甘えさせて下さいね。それまで頑張りなさい。

▼頒布価格
1部 3千500円(消費税、送料込み)
※2部以上購入の場合送料割引あり。

▼申込方法
葉書またはファックスで、左記の申込先が必要事項を必ずご記入のうえ、お申し込み願います。なお、電話での申込はお受けしていませんのでご了承ください。

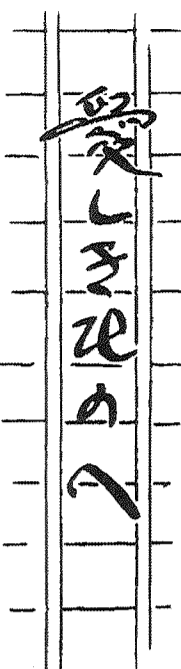
▼申込先
〒102-0074
東京都千代田区 九段南1-6-17 千代田会館3階 日本遺族会「慰霊友好親善事業・実施三十周年記念誌」係

昭和館で特別企画展

期間中1万782人が来場

昭和館では、令和4年7月16日から9月4日にかけて、特別企画展「お菓子の記憶」を甘くて苦い思い出たち『九段会館がみた昭和』を開催した。前者では、戦中・戦後の子どもたちとお菓子のまつわるエピソードについて、後者では、九段会館の改修工事竣工を記念し、ゆかりの資料や写真などを紹介した。1万782人が来場し、幅広い世代から好評を博した。

東京の九段下にある昭和館では特別企画展「お菓子の記憶」展では、戦前から戦後のかけがえのないお菓子の思い出たちと「九段会館がみた昭和」が同時開催された。「お菓子の記憶」展では、戦前から戦後のかけがえのないお菓子の思い出たちと「九段会館がみた昭和」が同時開催された。



遺言状

陸軍一等兵 木口 一二三
昭和十九年十一月二日
スマトラ島にて戦病死
神奈川県藤沢市大鋸出身 二十歳

皆も元気で丈夫で暮らして居る事と思ふ。自分亡き後は氣を落とさずに。国に捧げた此の体だ。自分も元より死は覚悟の上だ。好きで出て来た上は尚更だ。兎に角、弟・妹だけは立派に育ててくれ。弟の戦も自分はどうも云はない。真つ当な人間になればよと思つて居る。家の者も皆達者で居てくれればよい。父は体が餘り丈夫ではないから心配になる。それからもう一つお願いがある。自分としては、又、子供として親に云ひにくいのが、横浜に居る年寄二人の事は、何分にもお願いしておく。(中略)

木口一二三より

父上様

(原文のまま)
昭和四年九月靖国神社頭掲示
愛しきものへ

昭和館写真展
乗り物のある風景
昭和のくらしと交通事情

昭和館写真展
乗り物のある風景
昭和のくらしと交通事情

「乗り物のある風景」写真展
昭和館2階ひろばで開催
昭和館の2階ひろばで「情」を開催中である。は、令和4年9月10日から12月18日にかけて、写真展「乗り物のある風景」昭和のくらしと交通事情が、真が展示され、円タクや特急「富士」といった戦前に活躍した乗り物の写

の、日中戦争が始まり、お菓子が軍需品として扱われ、子どもたちが入手出来なくなるまでの流れが紹介された。また、戦後も続く物資

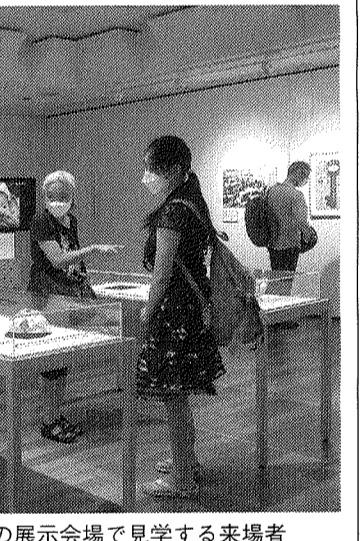
不足の中で僅かに存在したお菓子について、統制解除と自由販売を迎え、販売競争や賑わいを取り戻すまでの様子を紹介した。「九段会館」展では、昭和9年に竣工・落成した九段会館(旧・軍人会館)を取り巻く激動の昭和史を紹介し、建物遺構等を展示した。戦後、九段会館へと改称し、日本遺族会による運営のもと、結婚式場、宿泊、ホールとして、多くの方々に親しまれた施設であるが、10月3日に九段会館テラスとして開業されることを

昭和館写真展
乗り物のある風景
昭和のくらしと交通事情

昭和館写真展
乗り物のある風景
昭和のくらしと交通事情

真からスタートする。戦争が始まると軍需や戦意高揚が優先された。燃料の統制に対応するために登場した木炭バス、

記念し、開催された。会期中、1万782人が来場し、賑わいを見せた。館学芸部03-3222-2577



『お菓子の記憶』の展示会場で見学する来場者

「九段短歌」休載のお知らせ
九段短歌は新しい選者が決定するまでの間、休載とさせていただきます。

地方なまり
各支部遺族会で、実施された大会等は次の通り。
徳島県 7月9日
第72回語り部事業(60人)
富山県 8月3日
忠霊塔合葬戦没者二万八千余柱の慰霊祭(200人)
徳島県 8月13日
第73回語り部事業(50人)
滋賀県 8月13日
令和4年度第46回みたままつり並びに終戦

特別企画展を開催
徳島県戦没者記念館で
徳島県遺族会は、徳島県戦没者記念館で、7月3日から8月31日までの間、第13回特別企画展「沖

昭和30年代から40年代にかけての、東海道新幹線の試乗会や自動車が渋滞する中を走る都電の写真は、戦後復興とモータリゼーション時代の到来を感じさせる。

終戦間もない銀座四丁目交差点や鈴なりに列車に乗る人々の写真からは、戦後混乱期の交通事情を垣間見ることができ

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

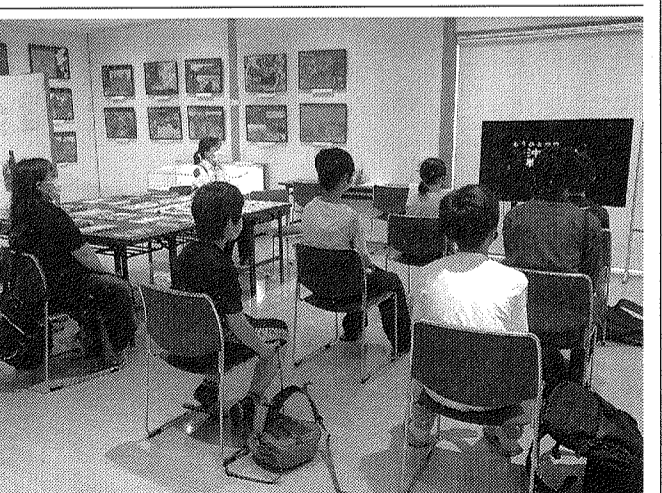
毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料/1,560円 (1年間12回 税金・送料込)
お申込み
日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

この企画展は、世界では今もなお争いが絶えない状況にある中、市民を

展示内容は、沖縄の戦史やひめゆり学徒を紹介するパネル、沖縄から残された御家族に送られてきた兵士からの手紙、摩文仁の丘にある「徳島の塔」での慰霊祭、また、沖縄戦を記した書籍や見

期間中は約1千500人の来館者があり、特に家族連れや、友達連れの小学生など、若い世代の見学者で賑わっていた。



沖縄戦についての証言DVDを見る小学生ら = 徳島県戦没者記念館で